

# 第1回札幌市行政評価委員会

## 会 議 録

日 時：2019年6月6日（木）午前9時30分開会  
場 所：札幌市役所本庁舎 6階 1号会議室



## 1. 開 会

### ●推進課長

定刻前でございますが、皆様お集まりいただきましたので、ただいまより、令和元年度第1回札幌市行政評価委員会を開催いたします。

本日は、大変お忙しいところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

上岡委員と吉田委員につきましては、ご欠席ということで、本日は3名の出席で開催させていただきたいと思っております。

また、今回は令和元年度における初回の行政評価委員会でございますので、委員長、副委員長が選任されるまでの間、事務局で司会を務めさせていただきます。

私は、推進課長の満保と申します。どうぞよろしく願いいたします。

## 2. 総務局長挨拶

### ●推進課長

それでは、開会に当たりまして、総務局長の木内よりご挨拶を申し上げます。よろしく願いします。

### ●総務局長

あらためまして、おはようございます。総務局長の木内でございます。

第1回行政評価委員会の開催に当たりまして、ご挨拶を申し述べさせていただきます。

委員の皆様には、朝早くからお忙しい中を委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、今年度は、委員の皆様全員が昨年度に引き続き就任いただけるということで、またお忙しい思いもさせますし、ご苦労をお掛けしますが、1年間の活動をどうかよろしく願い申し上げる次第です。

今年度は、年度当初に市長選挙がございまして、秋元市長が2期目に入った年でございます。そういう重要な年でもあり、また、3年後の2022年には、札幌市が市制を施行して100周年を迎えることとなります。3年後は次の100年のスタートの年になるということで、市長もよく述べておりますが、今年度、来年度は新たなスタートのための助走期間といえますか、しっかりした土台をつくって加速していかなければならない重要な年となります。

そういった意味で、私ども職員は、多様化する市民の皆様のニーズ、期待にしっかりと応えていけるような事務・事業を展開していきたいと考えています。そのためには、評価委員の皆様の高い知識、経験、大事な市民目線をもって、評価、ご指摘をいただきたいと思っております。そして、評価いただいた点につきましては、しっかりと受けとめまして、様々な事務・事業をしっかりとブラッシュアップしていきたいと考えております。

また、この1年、札幌市の事業につきまして、忌憚のないご意見をいただけますよう

にお願いを申し上げる次第でございます。

簡単ですが、結びに、委員の皆様のご健勝をご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。また1年間、よろしく願いいたします。

#### ●推進課長

本内につきましては、この後、次の公務がございますので、ここで退席とさせていただきます。

[総務局長退室]

### ◎委員の紹介

#### ●推進課長

それでは、お手元の資料の次第を1枚おめくりいただきまして、資料1の行政評価委員会委員名簿でございます。

今年1年間、委員の皆様におかれましては、大変なご負担をお掛けすることと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

本日は1回目でございますので、石井委員から順に、今後の抱負などのお言葉をいただければと思います。

#### ●石井委員

私は、備考に書いていただいているとおり、3期目・1年目ということで、吉田委員に次いで古手になってしまいました。あと2年で卒業ということになりますと思いますけれども、常にフレッシュな目で評価をさせていただきたいと思っています。

今年度はこれからテーマを決めていく形になりますが、意義のある委員会を運営できればと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### ●蟹江委員

私は、これで2期目・2年目ですから4年目になるのですがけれども、なかなか要領を得ず、あまりお役に立てず申しわけないと思っております。

札幌市の行政に興味を持とうということで努力してまいりましたが、ここで取り上げられていること全てが直接自分の身に振りかかっているわけではないところもありまして、やはり実感が湧かないところもございます。ただ、先ほど、次の100年に向かってというお話もありましたので、次の100年をよくするため、札幌市または札幌市民ができるだけ前向きに、札幌市に関わっていける行政施策を展開してもらえような評価の目を持って仕事に当たらせていただきたいと思いますと思っております。

あまり大きな力にはなれませんが、少しでもお役に立てるように努力していきたいと思っておりますので、ご指導いただけますようよろしくお願い申し上げます。

#### ●篠河委員

1期目・2年目の篠河と申します。

昨年度は1年目で、右も左もわからなくて、本当に委員長、副委員長に引っ張ってい

ただいて、何とか1年乗り越えたと思うのです。

1年目をやらせていただいて、本当に札幌市としていろいろなところで取組をしているという今までわからなかったことがわかったということが第1点です。

それに対して、先輩委員の皆さんのいろいろな視点からの意見をお聞きする中で、非常に勉強になった1年でもありました。

少しでも自分なりの意見を言えたらと思います。引き続き、よろしく願いいたします。

### ◎事務局紹介

#### ●推進課長

皆様、どうもありがとうございました。

続きまして、事務局からご挨拶を申し上げたいと思います。

#### ●改革推進室長

熊谷でございます。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### ●推進課長

推進課長の満保でございます。

皆様のご意見を交わされる中の下支えをできればと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

#### ●推進担当係長

推進担当係長の岩淵と申します。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

#### ●事務局

担当の須藤と申します。引き続き、よろしくお願いいたします。

### 3. 委員長・副委員長の選出

#### ●推進課長

それでは、早速でございますが、議事の3番目の委員長・副委員長の選出に入らせていただきたいと思っております。

参考資料2として評価委員会の規則をお付けしておりますが、第2条の委員長及び副委員長のところで、「評価委員会に委員長及び副委員長を各1人置き、委員の互選によりこれを定める。」という規定になっております。

従前のお通り、私ども事務局から案をお示しするということによろしいでしょうか。

(「異議なし」と発言する者あり)

#### ●推進課長

なお、上岡委員と吉田委員からは、この場の判断にお任せするという委託を受けておりますので、ここで申し添えさせていただきます。

それでは、事務局の提案といたしまして、昨年度に引き続き、委員長には石井委員、副委員長は蟹江委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでございましょうか。  
(「異議なし」と発言する者あり)

#### ●推進課長

ご異論がないということで、石井委員には委員長を、蟹江委員には副委員長をお願いすることといたします。

それでは、委員長、副委員長の机上札を置かせていただきます。

議事に入りますので、この後は石井委員長に進行をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

### 4. 議 事

#### ●石井委員長

ここからは、私が議事を進めさせていただきたいと思います。

まず、委員会規則に基づきまして、委員長、副委員長ともに事故があるときまたは欠けたときのために、あらかじめ職務代理者を指名する必要があります。

職務代理者については、昨年度に引き続きまして、吉田委員を指名させていただくことにしたいと思います。よろしくお願いいたします。

今日の議事は4項目ございます。

最初の令和元年度の行政評価について、事務局から説明をお願いいたします。

#### ●推進担当係長

それでは、今年度の行政評価についてご説明させていただきます。

まず、資料2をご覧くださいませでしょうか。

令和元年度の外部評価を行うに当たっての実施案をお示しさせていただいております。

まずは、外部評価の概要でございます。

(1) 評価の位置づけと目的です。

本評価は、札幌市自治基本条例及び行政評価実施要綱に基づき行われる、外部評価という位置づけでございます。

資料に抜粋と記載しておりますけれども、札幌市自治基本条例第19条に、「市民の視点に立った外部評価を取り入れるものとする。」と定められており、これを根拠として行わせていただいているところでございます。

(2) 評価対象事業についてでございます。

今年度は、平成30年度に実施した予算小事業と、その上位目的である施策を対象といたします。

続きまして、(3) 評価の視点でございます。

市民の視点に立ったという点を踏まえ、必要性、有効性、効率性等といった観点から見ていただきたいと思いますと考えております。事業の必要性や有効性はどうか、有効であったと

しても、本当に効率的な手法で行われているのか、また、担い手や事業水準といったことも含めて事業の評価をしていただければと考えております。

続きまして、(4) 評価の方法です。

今後、事務局から追ってお示しさせていただきます施策や事業に関する資料をもとに、事業所管部局へのヒアリング等を行いながら、先ほどの視点に基づき、評価を進めていただきたいと思いますと考えております。

その中で、市民生活への関連が強く、行政評価委員会として特に市民意見を聞く必要が高いとご判断いただきましたものにつきましては、例年、この委員会と連携した形で市民ワークショップを開催させていただいております。そこで、市民の皆様のご意見をいただいているところでございます。

年間を通じて、こういった議論をしていただき、最終的にはこの委員会としての報告書という形にまとめまして、例年1月ごろ、市長に手交していただいております。

続きまして、(5) ですが、こちらは平成29年度に実施した外部評価における指摘事項に関してのフォローアップでございます。

平成29年度の評価で指摘を受けた事項につきましては、昨年度、平成30年度の1年間を通じて各事業所管部局において、その対応を進めてまいりました。今後、第2回の委員会でその状況を報告させていただき、指摘に対して十分に対応ができていのかどうかについて、ご確認いただければと思っております。

(6) は、昨年度に引き続き、出資団体関連の点検でございます。

平成28年度の行政評価委員会において、展示会や見本市の開催など展示機能を有した施設を運営しております一般財団法人札幌産業流通振興協会、アクセスサッポロのあり方について、検討を進めるようご指摘がございました。

この件につきまして、所管部局が一定の整理をしておりますので、その結果や判断について、今年度の委員会において所管部局から報告させていただき、点検をしていただきたいと思いますと考えております。

おめくりいただきまして、資料2の裏面をご覧くださいませでしょうか。

こちらはワークショップの手法を用いた市民参加の取組ということで、今後、この委員会において市民議論を求めるテーマを設定していただき、無作為抽出の市民の方3,000人程度に参加の依頼を送付させていただきたいと考えております。その中から、参加希望のある市民の方を対象にワークショップを行わせていただきたいと思いますと考えております。

こちらは、今後、扱うテーマが決まった後の動き出しになる予定でございます。

最後に、3番の実施スケジュール(案)でございます。

右側が今年度の予定です。

次回、7月上旬ごろに第2回委員会を開催し、今年度扱う事業を具体的に決定していただきたいと思いますと考えております。そして、先ほどお伝えしたとおり、平成29年度の指摘

事項のフォローアップを行っていただくように考えております。

ヒアリング、8月から9月ごろに市民参加ワークショップを行いまして、11月ごろの第3回委員会にて、指摘事項案の協議と、先ほどご説明しました出資団体点検も併せて予定しております。

その後、第4回、手交式と進めさせていただければと考えているところでございます。

以上で、資料2の説明を終わらせていただきます。

●石井委員長

ただいまの説明に関しまして、ご質問、ご意見がございましたらお願いします。

基本的には、前年度と変わらない内容かと思っています。

予算小事業と、その上位目的である施策をイメージして評価するというのは、いい視点になるというところかと思います。

よろしいでしょうか。

(「なし」と発言する者あり)

●石井委員長

それでは、議事を進めさせていただきたいと思っております。

二つ目の議事でございますが、評価対象候補の選定についてになります。

これにつきましても、事務局から説明をお願いしたいと思います。

●推進担当係長

それでは、続きまして、資料3の行政評価委員会での評価対象施策・事業選定の考え方(案)をご覧ください。

まず、1番目の対象選定の視点です。

こちらは三つございまして、まず、特定の分野に偏ることなく、多様な分野から政策的なバランス等も考慮していただきまして、施策と事業を選定していただければと考えております。

次に、直近3か年、この委員会で取り扱っていない施策・事業を優先的に着目していただければと考えております。

そして、市民参加ワークショップに関連しまして、この取組になじみやすい事業かどうかといった点につきましてもご配慮いただき、選定を進めていただければと考えております。

続きまして、2番目の選定の流れでございます。

まずは、今回の委員会において、施策の候補を選んでいただきます。

その後、選んでいただいた施策に関連する事業などについて、私どもで、別途、資料をご用意いたしますので、次回、第2回の委員会におきまして、その施策の下にある具体的な事業等を選んでいただければと考えております。

続きまして、4番目に、参考として過去3年間の施策と事業の数を掲載させていただいております。

おめくりいただきまして、資料4-1でございます。

これは、札幌市の直近5か年の事業計画であるアクションプラン2015の施策体系を整理させていただいたものでございます。

アクションプラン2015につきましては、平成27年度から平成31年度までが計画期間となっております、今年度で計画が終了いたします。市長の2期目がスタートしたところでございまして、札幌市は2022年に市制施行100年の節目を迎えるところでございます。一方で、人口減少や超高齢社会という時代の大きな転換期にも直面しております、今後は、経済規模の縮小や市税収入の減少、医療介護をはじめとした社会保障や老朽化した都市基盤の更新等、行政需要がさらに増加していくことが予想されます。そうした中におきましても、札幌市のまちの魅力や活力を高めるまちづくりを継続、発展させていくことが必要であると考えておりまして、現在、市長が掲げた公約の実現や新たな行政課題の対応に向けて、次期アクションプランの策定の検討を進めているところでございます。

資料4-1に戻りますけれども、今回の行政評価で扱っていただくのは、こちらの2015年のものになります。資料4-1にありますとおり37施策ありまして、過去3年間に委員会で取り上げたテーマにつきましては、直近3か年の実施状況の欄に、実施した年度を記載しております。ここに重複のないよう、バランスを見て選定に当たっていただけると幸いです。

続きまして、資料4-2になります。

こちらは、アクションプランの各施策の取組の概要や、5か年、あるいは、アクションプランの上位計画である戦略ビジョンで目標にしている各取組の目標値などをまとめたものでございます。

お手元にアクションプラン2015という水色の冊子も配付させていただいておりますけれども、この冊子から抜き出した形になっております。

こちらは、今後の選定の参考にしていただければと考えております。

続きまして、資料を少しおめくりいただきまして、資料5をご覧いただきたいと思っております。

包括外部監査テーマ一覧（5か年分）と書いた資料でございます。

例年、別途、行わせていただいております包括外部監査のテーマを参考までに示させていただいております。

今年度の監査につきましては、子育て支援、子ども家庭福祉等の関係で行われるとのことでございます。

議事（2）については、以上で説明を終わらせていただきます。

## ●石井委員長

ただいま、事務局からご説明いただきましたとおり、これから令和元年度の評価対象を皆さんと議論して決めていきたいと思っております。

その前に、資料に関してのご質問がもしあればどうぞ。

(「なし」と発言する者あり)

●石井委員長

それでは、今日は決めるところまで行かなくてもよろしいので、率直なご意見を出していただきたいと思います。

●篠河委員

資料4-1を見ると、過去3年、4番、5番、6番が全然選ばれていないので、できればここから選ぶようにしたほうがいいのでしょうか。

●石井委員長

そういう考え方になるかと思います。

●篠河委員

やはり北海道というと農業と観光が大事かなと思うので、その視点から言うと、4-①と4-②は候補かなと一つ思っていました。

●石井委員長

蟹江副委員長はいかがですか。

●蟹江副委員長

この事業を具体的に見ているわけではないのですが、やはり、観光は、いわゆるインバウンドと市民の共存が全国でも結構問題になっているところがあります。でも、今の時代、観光は札幌市にとって非常に重要な政策課題でもあると思います。直接そういう話になるかどうかはわかりませんが、そういう観点も含めながら、観光について、行政ではどういう考え方で事業が進められているのかは重要な観点かなと思いました。

それから、似ている観点かもしれませんが、5-④の札幌市をいかに世界に売り込んでいくか、最終的には循環して観光にも結びつくということもあると思います。札幌市の魅力をより高め、そして、発信していくところにも目を向けてみてはどうか、この資料を見た限りではそんな感じがいたしました。

もう一つ、9-①、9-②、9-③は、対象が違うのかもしれませんが、住宅の問題は、高齢化で空き家が増えるとか、市営住宅も老朽化のために建替えあるいは廃止しているものもあると伺っています。そういったものの対策については、前向きばかりというわけにいかないところがありますので、色々なことを考えたときに、どういう見通しを立てて政策を行うのかも見ておく必要があるかなと思いました。

●石井委員長

私は、9-⑥に出ている札幌ドームを上げたいと思います。

多分、これ自体は公共施設をどう活用していくかという保全の話であり、大規模改修をやっていくというタイミングで、ドームをどう活用していくかという話はどう考えても非常に重要な課題になっているのです。ただ、この外部評価で何かを言う意味があるかどうか、よく考えてから選ばなくてはいけないと思うのです。

今、必要なことを言うような意味では、やってみるかどうかというのがあるかなと思いました。

4番、5番、6番が埋まっていないというところと言うと、観光も含めて札幌の経済の視点は、やはり今すごく大事になっていて、札幌の経済活動はよそ目には悪くないように言われているのですけれども、決して良くなって、課題の方が多いのではないかというところなのです。少しそういうものを見て、どういう方向を考えるかという話はあるかもしれないと思います。

札幌市は女性活用や女性の未婚率が高いので、この6-②の誰もが活躍できる社会の実現は、地方創生のときから大きな課題になっているという認識があるのです。ここで実際に出てくる事業がどうかというバランスはもちろん見なければいけないですけれども、テーマ設定としてはそういうものがあるかなと思います。

観光は、今、蟹江副委員長がおっしゃったけれども、マイナス面にも配慮した視点でやれるのだったら、それもあつてもいいかなと思います。今は、放っておいても、観光振興みたいなことはしばらく進むと思うので、それよりは進んでいない、海外販路拡大支援や、輸出などで、4-①の北海道らしい産業の育成強化みたいな話は、札幌も含めて全道的に弱いテーマになっているので、そういうものを選ぶという視点もあるかなと感じています。

#### ●篠河委員

どこへ行っても人が足りないという人材面の話は聞くものですから、やはり農業、観光のほかにも、今、石井委員長がおっしゃったような6-②あたりがもう一つの候補かなと考えていましたので、いいかもしれないですね。

#### ●石井委員長

人が足りないという結構言っているけれども、その本質は単に足りないという話ではないのです。ちゃんとお金も払わない職種で人が集まらないことを足りないと呼ぶような、シンプルに言うとそういうことがすごく多いのです。

逆に言うと、本当に社会的に市民が果たしているのかどうかといった部分は、大都市では実際には弱く、社会参加をできていない人も多くいるので、そういう話ができるのであれば、6-②は良いかと思えます。

#### ●改革推進室長

事務局から補足させていただきますと、アクションプランについては、今の2015を1年前倒して、今年度中に次の2019というアクションプランをつくらうということで、庁内でいろいろ議論を始めているところです。

そんな中で、市長の関心が非常に大きいと私なりに感じているところをお話しします。

今、何点か話題に出していただいたもの全て大きな関心のあるところだと私も思います。特にオリパラが話題になっていまして、オリンピックというものを一つの起爆剤にして、海外からもよりたくさんの人に来ていただいて、経済を回して行って、そのこと

によって、例えば、福祉やまちづくりの分野にもお金が回っていくというような循環、特に外国人、インバウンドを念頭に置いた経済の循環のようなことをやっていかなければ、次の100年に行けないということが市長の頭の中に大きくあるようです。今、話題に出ていた経済という視点や、4番、5番あたりの産業・活力、特に具体的にオリパラ招致も5-⑤で出ていますけれども、今後このあたりは施政の中では大きな話題の一つになっていくのだろうと私自身もイメージしております。

それから、今、話題が出ていなかったものとしては防災の関係があります。去年のブラックアウトもありまして、今一度、防災、安全ということをしつかりとやらなければいけないということになっており、つい先日、発表した補正予算にも、そういう視点の予算が盛り込まれております。そこは、見直しもしながら、備えを厚くしていかなければならないということは、行政の動きの中で一つ大きな柱としてございます。

札幌ドームの話も委員長から出ておりましたが、これは全くご指摘のとおりであります。大きな公共施設をどうやって維持していくのかというのは、これから100年を見据えた中で非常に大きなテーマになりますし、具体的に札幌ドームについては、どう活用していこうかという検討も庁内でいろいろやっていかなければならないというような状況になっております。

あとは、女性活用ということも、これからの100年を考えたときに、あるいは、札幌は現状で女性比率が比較的高かったりするわけですから、ここを上手く回していけないといけないというのは庁内でも共通の認識として持っておりますので、非常に重要な視点になってくるのではないかと感じたところであります。

あくまでも補足でございますけれども、そのような所感を持たせていただきました。

#### ●石井委員長

テーマのバランスもありますね。

#### ●改革推進室長

市民の皆さんとワークショップで議論するにはどんなテーマがなじむのかということも重要なポイントの一つと考えております。

去年の市民ワークショップは省エネがテーマだったものですから、ブラックアウトにちょうど絡んだ状態でありまして、ある意味、すごくタイムリーな話題となり、皆さんに熱い議論をしていただいたという状況でした。たまたまですが、皆さん、自分ごととしてエネルギーの問題を考えていただいたというのが昨年の実例でございました。

#### ●石井委員長

全然違う視点で選んでも、そういうこともあるのかもしれませんが。今まで出ていたものは、ワークショップには結構難しいかもしれませんね。

#### ●改革推進室長

そうかもしれないですね。

## ●石井委員長

防災の話は、感覚的に言うと、今はいろいろな施策を強化して打つタイミングなので、事後評価ということかというと、あと2年ぐらいたってからやるのが意味あるタイミングになるかなと思います。多分、今、拾うと、考えています、やっていますというふうになると思うのです。それでよしという話になるとあまり意味がないかなと思うので、事後評価的な観点でいうと、一区切りずらしたほうがいいかなと思います。

もちろん、殊さらにスクラップする考え方が必要なタイミングがあると思うのです。ただ、この話は、今は我々があまりとやかく口を挟まなくてもスムーズに色々な政策が進むと思うので、進めていただいた後で、整合性の話をしたほうがいいかなという感じがします。

市営住宅も結構大事な話で、公共施設の中で何となく抑制的に進めていくみたいな話です。私は、もともとこの分野での民間活用を結構昔から主張しているのですが、現状で言うと、要は、借り上げ市営住宅はコストが高いということで、あまり合理的ではないという話になっているのです。ただ、それは本来のコストの話ではなくて、札幌市が自分の勘定の中でどっちが得かという話をしているので、トータルで言ったら、やはり民間を使っていくところの意味は、本当は大きいと私は思っているのです。

一方で、何度か議論をしたことがあるので、あまり何も言いませんが、建替えの場合には市がやるという政策なので、私のポジションとしては基本的にそれは反対なのです。今日的に言うと、市がやる必要は何もないのですが、そういうことを根本的に詰めたら、私はそういう問題意識を言うてしまうと思うのです。

## ●蟹江副委員長

話が重た過ぎますかね。

## ●改革推進室長

それはおっしゃっていただいて構わないと思うのです。人口が間違いなく減っていく中で、市営住宅をどうしようかというのは庁内でも議論されているところですし、もちろん市営住宅に限らず、公共施設全般ですけれども、今のまま持ち続けるのはやはり無理だというような共通認識は庁内にもあります。ただ、いわゆるライフライン系まで入れると話がすごく広がるというか、違うフェーズになってきてしまうのですが、もしかしたら市営住宅はテーマとしては良いかもしれません。

## ●石井委員長

市営住宅は、従来は住宅供給政策として、むしろ建設することに意味があるということとやられていたのですが、今はやはり色合いが随分変わってきて、むしろ社会保障の一環というポジションだと思うのです。極端な言い方をすると、札幌市の場合は、結局、市営住宅が多いことと生活保護率が高いこととがパラレルになっていたりします。だから、市営住宅からスタートしても課題自体も広がって、要は、住宅を抑制的にという社会保障の問題になったりするのです。

そこは都市によって対応が随分違うのです。札幌市は、公営住宅の比率も比較的高いし、手厚くやっているので、結果的に市営住宅が弱者の受け皿になっているところが多分あると思います。でも、どこまで議論するか、テーマは建替えで上がっていますが、建替えの話はそういう話になるので、テーマとしては結構重いけれども、大事なお話ですね。

外部評価でも公共施設マネジメントを少しだけやりましたけれども、公共施設の3分の1は住宅ですから、市営住宅はポイントになると思います。つまり、何をとっても、それなりのテーマにはなるという話です。

市営住宅も、基本的な方針みたいなものがある程度整理されていたのですよね。

#### ●推進課長

今、市営住宅については、公共施設マネジメントの観点も含めた整備計画の議論をしている最中でございます。特に厚別区の青葉団地になりますと、熱供給のシステムとの関係をどうするのかという議論もあったりして、やや議題が札幌市全域のエネルギー施策にもかかわってきまして、複雑化してしまう可能性があるかなとは思っています。

#### ●改革推進室長

市営住宅そのもののあり方もそうですが、結構、大規模な団地がありますので、例えば、それをやめるとなったときに、では、次に、そのエリアのまちづくり全体をどうしていくかという議論が必然的に出てくるのです。

#### ●推進課長

その中で、民間の賃貸住宅の借り上げを活用するとか、今さまざまな方策が検討されている真っ最中でございます。従来の方向性ではありながらも、やはり少し抑制する方向で動いている状況ではあるのです。まだ、はっきりとこういう形で行くという状況でもございません。

#### ●石井委員長

たしか公共施設マネジメントでの議論は、住宅も含めてここでやったはずなので、基本方向については、そごがないとすると、少しアクションプランが出てきて、実施段階になってから評価するというのが本筋になるのかもしれないですね。

#### ●推進課長

そのほうがいいと思います。

#### ●石井委員長

計画づくりをしているときは、あれこれ評価するタイミングではないですよ。

まだ、今日決めるわけではなくて、何となくいろいろあるなということが見えてきたかなというところですから、あらためて資料4-②も見させていただいて、今日出た項目の中で、どこら辺が選ぶにふさわしいかについて、各委員にお考えいただいて、次回には絞り込んでテーマを決めさせていただくということはいかがでしょうか。

(「異議なし」と発言する者あり)

●石井委員長

上岡委員と吉田委員にも、今日はこんなテーマが出ましたということと、それを踏まえて少し絞り込みの検討を各自でやっていただきたいということをお伝えいただければと思います。

●改革推進室長

承知しました。

●推進担当係長

そうしましたら、次回に向けまして、我々のほうで、少し細かい資料も用意していったほうがいいかなと思いますので、確認いたします。

4-①、4-②、5-④、5-⑤、6-②、9-①、9-②、9-③、9-⑥あたりでしょうか。

●蟹江副委員長

今のお話だと、9-①、9-②、9-③はなくてもいいかもしれません。

●推進担当係長

それでは、9番は9-⑥にいたします。

●蟹江副委員長

委員長がおっしゃった5-①の販路拡大もお願いします。

●推進担当係長

もう一度確認させていただきます。

4-①、4-②、5-①、5-④、5-⑤、6-②、9-⑥、今日出た議論は、大体このあたりのところでしょうか。

(「異議なし」と発言する者あり)

●推進担当係長

そうしましたら、次回までに関連する資料をご用意いたしまして、次回、もう一度、お考えいただくというような流れといたしたいと思います。

●改革推進室長

あるいは、この間、いろいろご検討いただくに際して、何かこんな資料が見たいということをリクエストいただければ、用意できるものは用意したいと思いますので、おっしゃってください。

●石井委員長

何かあったら、個別に事務局にお願いしていただきたいと思います。

では、二つ目の議事につきましては、これで終わらせていただきまして、次に、平成30年度の行政評価(報告)について、これについても、事務局からご説明をお願いしたいと思います。

●推進担当係長

それでは、説明させていただきます。

資料6、平成30年度札幌市行政評価、行政評価委員会指摘事項と改善・見直しの検討状況という資料になります。

こちらは、昨年度の行政評価委員会でご指摘いただいた内容でございます。今年度、各事業担当部局で、この指摘に対する取組を進めていくこととなりますけれども、その取組の方向性をまとめたものでございます。

まず、ナンバー1からナンバー6は、地域のまちづくりに関するものでございます。

昨年度のご指摘では、地域活動の主体である町内会に関して、若い世代を取り込むための取組であったり、効果的な情報発信方法について工夫して、活動の継続性や担い手の育成を進めていくようにというご指摘でございました。

ナンバー7につきましては、省エネに対する市民意識の醸成にさらに取り組んでいくようにといった指摘でございました。

こちらについて、各担当部局で、今後の取組の考え方をまとめさせていただいております。今年度中に所管部局が検討しまして、また、来年度、この行政評価委員会の場で報告させていただきたいと考えております。

議事3についての説明は以上でございます。

●石井委員長

ただいまの報告につきまして、ご質問等がございましたらどうぞ。

●改革推進室長

特に今年度につきましては、今ほど申し上げたように、次のアクションプランを策定するという作業を各現場で今まさにやり始めているところです。この中でも、軒並み検討中と書いていますけれども、次のアクションプランに具体化してくるものもあろうかと思っております。

●石井委員長

去年の町内会とかコミュニティー絡みの話は、市がどこまでどう進めるかが難しいテーマですので、わかっていて少し踏み込んだ指摘、意見を出しています。ですから、少し具体的に検討していただくところでどうしてもなってくるかなと思います。実際に行動ベースに落とすのは結構難しいところがあるのはもちろん承知しているけれども、やはり、今、そこに踏み出さないと、多分、後が大変だよねという問題意識は担当部局とも共有できているのだと思います。

いずれにしても、言ったことに関してしっかりと対応していただいているという部分は、札幌市としてのいい流れになっていると思いますので、ぜひ進めていただければと思います。

●改革推進室長

ありがとうございます。

●石井委員長

では、これはこのような方向に進めていただくことでよろしいですか。

(「異議なし」と発言する者あり)

●石井委員長

それでは、その他ということで、四つ目の議事がございますが、委員の皆様から何かありますでしょうか。

(「なし」と発言する者あり)

●石井委員長

事務局からはいかがですか。

●推進担当係長

特にございません。

5. 閉 会

●石井委員長

それでは、これで、第1回行政評価委員会を閉じさせていただきます。

ご協力をどうもありがとうございました。

以 上